

研究課題番号	2-2103
研究課題名	「2050年実質ゼロカーボン/地域自立エネルギーシステム・ロードマップ」研究
研究代表者名（所属）	高野雅夫（名古屋大学）
研究期間	2020年度～2022年度
研究キーワード	気候変動、カーボンニュートラル、再生可能エネルギー、地方自治体、ロードマップ、シナリオ分析、GIS、エネルギー貧困

研究概要と成果

ゼロカーボン社会を築くためには、地方自治体の主体的な取り組みが欠かせません。しかし、自治体には専門の職員が少ないため、将来のゼロカーボンに向けてのロードマップを描くことができませんでした。そこで本研究では、専門性のない職員でも簡単に将来のロードマップを描くことのできるツールの開発を行いました。

その結果、ゼロカーボン地域シナリオ分析ツールの開発に成功し、エクセルファイル形式での配布を開始しました。以下のWebサイトから自治体関係者を対象にダウンロードできます。

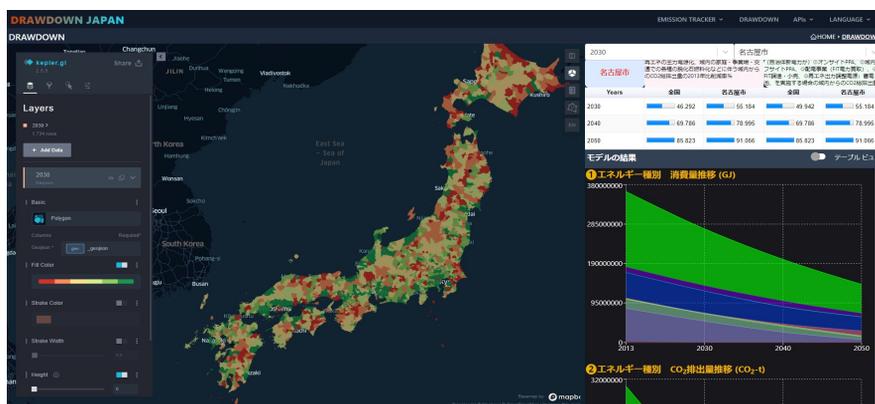
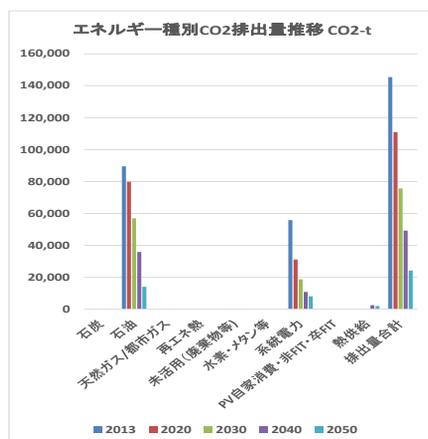
<https://zerocarbon.jp/>

このツールを使って1741のすべての市区町村について、左図のように2030年、2040年、2050年のエネルギー種別、部門別・業種別のエネルギー消費量、CO₂排出量などがグラフによって示すことができるようになりました。

また、シナリオのパラメータを変更することによって、それぞれの自治体でカーボンニュートラル社会に向けての独自のロードマップを描くことができるようになりました。

さらに、カーボンニュートラル地域シナリオ分析ツールを組み込んだGISベースのWebアプリケーションDrawdown Japanを作成することに成功しました。

<http://de14.digitalasia.chubu.ac.jp/>



環境政策等への貢献

- 1741のすべての市区町村について、2030年、2040年、2050年のエネルギー種別、部門別・業種別のエネルギー消費量、CO₂排出量などがグラフによって示すことができるようになりました。
- シナリオのパラメータを変更することによって、それぞれの自治体でカーボンニュートラル社会に向けて独自のロードマップを描くことができるようになりました。
- 市区町村ごとにビジュアルに過去のCO₂排出量などとともに、将来のロードマップをわかりやすく表示することができるようになりました。